

令和3年4月8日(木) No.459



生徒一人ひとりを大切に、グリットを高め 絆を深める里中学校

里中だより

川口市立里中学校

川口市里621番地

TEL 048-282-5708

さわやか相談室 284-1010

1年202名 2年201名 3年213名

<http://www.sato-chu.com/>

令和3年度スタート グリットに期待

校長 荻上 晃司

本校に着任して2年目を迎え、改めて伝統ある里中学校の校長としての職責の重さを実感しております。昨年度の成果と課題を踏まえて、本校の学校教育の更なる充実を目指して、学校経営に取り組んでまいります。

今年度も教職員が一丸となって、下記の学校経営方針のもとで、教育活動を推進してまいります。保護者・地域の皆様には、引き続き、本校の教育活動に対してご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

<学校教育目標> 【真剣に学ぶ生徒】 【人間性豊かな生徒】 【心と体を鍛える生徒】

<校訓(目指す生徒像)> 【自律】 【協調】

- ・自律…夢や志を持ち、その実現に向け主体的に行動し、自らの将来を切り拓く生徒
- ・協調…様々な課題に他者と協力し合い、解決していく生徒

<目指す学校像> 【生徒一人ひとりを大切に、グリットを高め 絆を深める里中学校】

- ・グリット…知・徳・体のやり抜く力、生きる力の根幹
- ・絆 …人とのつながり(学校・家庭・地域、生徒同士、生徒と教職員、教職員同士)

<学校経営方針> 【生徒第一主義】

- 1 確かな学力の育成
- 2 豊かな心を育てる指導の充実
- 3 地域に根付いた学校づくりの推進
- 4 学校ファームの推進
- 5 主体的に健康保持増進、体力向上を図る指導の充実
- 6 安心・安全な学校づくりの推進
- 7 体験活動を生かした進路・キャリア教育の推進
- 8 ノーマライゼーションの理念に基づく特別支援教育の視点を取り入れた指導の充実

私の教育信条は、<目指す学校像>で謳っている、グリット(やり抜く力)の育成です。4月8日の第44回入学式では、グリットについて、次のような話をしました。(校長式辞一部抜粋)

新入生の皆さん、今日の入学式には、ご来賓、2・3年生の姿もありません。2019年末にはじめて新型コロナウイルスが確認され、感染が拡大するまでは、3ヶ月にわたる臨時休校や、このような形で入学式や卒業式を行うことを誰も予想していませんでした。同じように皆さんが主役として活躍する近未来の社会は、「予測困難な社会」「先行き不透明な時代」と呼ばれています。この後、どんな課題が待ち受けているのか分からない状況にあります。分かっていることは、予測もしなかった課題、答えのない問いに対して、考え、議論して、人の考えと自分の考えの良さを共有したり、折り合いをつけたりしながら、その時点での最善解を導き出す力が必要であるということです。本校では、このような力を授業や部活動、生徒会・委員会・係活動、学校行事などを通して育成することを目指しています。

そして、もう一つ。皆さんは、「グリット」という言葉を知っていますか。日本語では「やり抜く力」と訳されています。これは、アメリカの心理学者、アンジェラ・ダックワースの研究から導き出されたもので、成功者の共通点は、生まれ持った才能ではなく、「グリット」にあるという理論です。上手くできなくてもいいので、とにかく今持っている力で学習も、部活動も、学校行事もやり抜くこと。最後までやり抜いたことだけが自分の経験として蓄積され、自分を成長させてくれます。どんな社会や時代においても必要となる「グリット」を高め、この3年間で大きく成長してほしいと願っています。

